



トキヨーサイダー物語

「トキヨーサイダー」が、東京都向島区吾嬬町（現・東京都墨田区立花）で産声を上げたのは、1947年（昭和22年）のこと。未だ混乱の続く戦後間もない頃に、焦土と化した東京の復興のシンボルとして生まれ、地元に愛され、その後42年という永きにわたって作り続けられた、まさに東京下町墨田区生まれのシンボル地サイダーです。生みの親は、丸源飲料工業株式会社。同社も戦災により社屋、工場を焼失しますが、終戦からわずか2年後にトキヨーサイダーを発売。そこには、自社だけでなく、東京の復興へ向けた熱い思いが込められていました。トキヨーサイダーの販売は1989年に終了ましたが、2011年に墨田区に限定して、オリジナルボトルでの復刻販売となりました。もちろん中身も当時のレシピを忠実に再現しています。懐かしい味わいのなかに、さっぱりとした清涼感。レトロだけど未来を夢見るレトロフューチャーなテイストが特徴です。

トキヨーブランド

"Tokyo Brand"マークは、丸源飲料工業株式会社が「トキヨーサイダー」など、トキヨーという名称を冠するブランド商品に共通して使用したもの。中央のデザインは、シャンパングラスに気泡（あわ）をモチーフにしています。

AZUMACHÔ CAFE～トキヨーサイダー俱楽部～では、丸源飲料工業の開発食材を使用したトキヨーブランドメニューを多数ご用意しています。



ラベルデザイン～復興のシンボル～



ラベル中央に配された見慣れないドーム型の建物は、回向院境内に1909年竣工した旧両国国技館。関東大震災、第二次大戦で被害を受けながらも耐え抜き、当時の東京復興を象徴するアイコンとして発売時に採用されました。

すみだモダン認証商品

すみだ地域ブランド推進協議会は基本コンセプト「あたらしくある。なつかしくある。」をもとに、「人・暮らし・想い」に適合した“すみだ”ならではの個性を持った魅力のある墨田区生まれの商品をブランド認証しています。トキヨーサイダーは、この地域ブランド“すみだモダン”として認められています。

トキヨーサイダー・北斎ラベル

世界的な画家として評価の高い「葛飾北斎」は、本所割下水（現在の墨田区亀沢付近）で生まれたと言われており、90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしながら、多くの作品を残しています。この北斎の代表作とも言える「富嶽三十六景」の版画をトキヨーサイダーのラベルに配しました。また、当社の創業100周年記念事業の1つとして、2016年11月22日に開館しました「すみだ北斎美術館」（東京都墨田区亀沢2丁目7番）のネーミングライツパートナー（同館講座室に「MARUGEN100」と命名）となりました。



すみだ北斎美術館



あたらしくある。
なつかしくある。



AZUMACHÔ CAFE

トキヨーサイダー俱楽部



オリジナルバージョン

北斎ラベル

AZUMACHÔ CAFE ～トキヨーサイダー俱楽部～

AZUMACHÔの名称は、トキヨーサイダーのふるさと旧向島区の町名「吾嬬町」（現：墨田区北東部）に由来し、東京下町に残る伝統文化・風情を独特の世界観と共に発信するトキヨーサイダーのコンセプトショップです。地元企業とのコラボレーションメニュー やオリジナル商品など、懐かしさと新しさ、楽しさと美味しさを提供するカフェです。

東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ7階 ☎ 03-6847-1947

もっとたのしく、もっとおいしく。
丸源飲料工業株式会社

〒131-8527 東京都墨田区立花4-7-8 TEL 03-3617-0121 (代表)
トキヨーサイダー事業部 TEL 03-3617-0127 (直通) E-mail info@tokyocider.com



www.marugen.com

180131